

令和7年度

北島北小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 言語活動の充実を図り、主体的・対話的な学習を創造する。
- 学び合いを深めるための、望ましい学習規律・学習習慣の確立を図る。

校長

学力向上推進員

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○課題にまじめに取り組むことができ、おおむね基礎的・基本的な知識・技能は身につけている。 ●個別指導の必要な児童が多い。	・基礎的・基本的な知識や技能を定着させ、必要な場面で活用することができる。	・小テストやプリントにより、基礎的・基本的内容の充実を図る。 ・スマイルネクストなどのアプリを活用し、復習の機会を多くし、個人差に応じた支援をする。		・小テストやプリントを活用し、多くの児童が基礎的・基本的な内容を習得できた。 ・タブレットを活用し、個人差に応じた学習をすることができた。	・さらに学習の定着を図るため、繰り返し復習の機会をとる。

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の考えを理由をつけて発表したり、友達の意見を認め、取り入れたりする。 ●多角的な見方はできるが、表現する力に差がある。	・相手や目的に応じて、根拠や理由を明らかにしながら、自分の考えを豊かに表現できる。 ・他者の意見や取り出した情報を比較・関連付けたりしながら、自分の思いや考えを深めることができる。	・ICT機器を積極的に活用し、話すことが苦手な児童の考えや思いも可視化し、共有できるようにする。 ・めあての提示とまとめ、振り返りを行う。 ・学習の振り返りにおいて、決められた条件でノートにまとめたり、発表したりする。		・大半の児童が、自分の意見や考えを発表することができ、自分の考えをノートに書くことができても、発表ができない児童もいる。 ・めあての掲示、まとめ、振り返りを行うことができた。 ・学習の振り返りを共有するまでの時間を確保することが難しかった。	・自分の意見に理由を付けて、話したり、友達の意見と比べたり、関連付けて話せるようにする。 ・生活の中でも、主体的に考える時間を作る。 ・スモールステップで、発表の仕方を身に付けさせる。

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○授業や家庭学習に意欲的に取り組むことができている。 ●自ら課題を見つけ、自主的に学習することができない児童もいる。	・自ら課題を見つけて、解決までのプロセスを考え、学ぶ楽しさや喜びを実感することができる。 ・家庭において、自主的に学習や読書をする事ができる。	・自主学習や読書活動に対して、自らの目標を決めることができるように推進する。 ・実生活に関わることを取り入れたり、体験活動を重視したりする。		・自主学習や読書活動に対して、進んで取り組む児童が多いが、言われないとできないなど個人差がある。 ・体験的な活動を取り入れた学習を積極的に行うことができた。	・自ら目標をもって学習や活動に取り組めるよう、見通しを持たせたり、環境づくりに努めたりする。 ・個人差について支援ができるようにする。